

## 防災スペシャリスト養成研修のアンケート結果

## 1. アンケートの実施について

## (1) 評価の基本的な考え方

「防災スペシャリスト養成研修」全体の実施を通じて、研修の主要目的（資料 1 参照）を達成できたかどうかを総合的に評価するための基本的な方向を下表のとおり定め、研修効果を測定することを基本とする。

表 1 評価段階※に基づく研修の評価の方向

	講義・演習終了直後	コース終了直後	フォローアップ
レベル 1 反応	講義・演習の満足度	コース全体の満足度	
レベル 2 学習	講義・演習の理解度	コース全体の理解度	
レベル 3 行動変容		防災関連業務への活用 の方針	防災関連業務における 取り組みの変容（受講 者と上司）
レベル 4 結果			災害対応における研修 成果の活用（災害対応 経験後）

※カークパトリックの 4 段階評価

- ・レベル 1 Reaction：反応…研修参加者の満足度を見る
- ・レベル 2 Learning：学習…研修で学んだ知識・技能・態度面での理解度を見る
- ・レベル 3 behavior：行動変容…研修後、職務上の行動が変化したかを見る
- ・レベル 4 Results：結果…研修後、研修によって成果が上がったかを見る

## (2) アンケートの概要

防災スペシャリスト養成研修（第3・4四半期）の各コースにおいて実施した、アンケートの一覧を下表に示す。

表2 アンケートの一覧

種別	事前アンケート	事後アンケート	単元別評価
実施時期	コース開始時	コース終了直後	各単元終了時
主な設問 評価内容	受講生の属性 (所属団体、地域 職位、経験など) 知識・スキルの 自己評価 申込時の経緯・職場環境 研修での習得目標・期待	運営方法等への評価 (日数、会場など) 研修内容への評価 習得目標・期待の達成度 難易度・レベルの妥当性 追加テーマの要望 内容・講義形式のバランス	学習目標の理解度 講義・演習方法 の妥当性 講義内容の実務 での有用性 総合的な満足度

## (3) 評価の項目

「第1回検討会 資料5」で示した、下表の1)から7)の観点について、対応するアンケートの設問番号を下表に整理した。

表2 評価目の観点

	評価の観点	対応する設問
研修に 関する 事項	1. 研修の内容を十分に理解できたか	事後 2-②
	2. 研修の目的に合った講義方法がとられていたか	事後 2-⑤、事後 3-①
	3. 参加しやすい研修の時期であったか	事後 3-③、事前 14
	4. 研修の期間が長すぎないか、短かすぎないか	事後 3-②
	5. カリキュラム内容のレベルが低すぎないか、 高すぎないか	事後 2-⑥、事後 2-⑦
	6. カリキュラム内容で足りないものがないか	事後 1-③
	7. 研修目的に合った研修場所であるか	事後 3-⑤
研修後 の効果 に関する こと	8. 防災関係職員としての基本姿勢や職務の意味が再確認できているか 9. 現在の自分の業務における災害対応の課題の抽出に役立っているか 10. 防災関係職員として不可欠な知識・スキルの復習・整理・理解促進を行っているか	—  (※本アンケートの 対象外)

## 2. アンケート結果にもとづく今後の対応（案）の検討

第3四半期および第4四半期のアンケート結果から、全体的な傾向と今後の改善・対応の方向性（案）について、下記の2. 1に整理した。また、第3四半期のアンケート結果等を受けて、第4四半期の実施段階で対応を行った事項についても2. 2に整理している。なお資料末には、第3四半期および4四半期のアンケートを総合した集計結果を掲載した。

### 2. 1 本年度の傾向と、来年度以降の対応（案）について

#### 1) 受講生の募集・参加について

##### ○参加者の自治体など（事前アンケート②）

###### 傾向

参加者は、関東地方に多い傾向がある。背景には、研修場所が東京であること、また地方から研修に参加をする場合は、早い段階で役所内での手続き（旅費予算確保、出張申請など）を行わなければならない事があると想定される。自由回答などでは、旅費の一部負担や宿泊先の確保について事務局へ協力や、地方での研修開催の要望もあった。

###### 対応（案）

- ・ 研修のスケジュールを早期に広報を行う。
- ・ 研修を地方で開催する。

##### ○参加者の業務経験など

###### 傾向

幹部コースの受講生の役職は課長級以上が8割を占める。しかし、防災に関する経験や知識については多い受講生ばかりではなく、少ない受講生も少なくない状況で、参加者の経験・知識のレベルは幅が広い傾向がある。（防災行政への従事年数が1年未満と短い者が約4割、防災に関する知識をあまり知らないとする者が約3割を占める。）

###### 対応（案）

- ・ 事前アンケートの結果を、事務局より講師に提供し、知識・経験の少ない幹部に配慮した口頭説明や質疑応答が行われるよう工夫する。

- ・ なお、将来的に、経験・知識のレベルの異なる受講生の混在による満足度の低下が見られた場合には、幹部コースを、豊富な経験・知識を有する幹部を対象としたコースと、経験・知識の少ない幹部を対象としたコースを開講することも検討する。

#### ○研修期間について（事前アンケート②）

##### 傾向

総合コースでは、研修機関の長さを「とても長い」あるいは「やや長い」とする回答者が半数を超え、「ちょうど良い」とする回答者を大きく上回る。そのほかのコースはすべて、期間の長さを「ちょうど良い」とする回答者が最も多い。

##### 対応（案）

- ・ 総合コースで扱うテーマを分類し、受講生が関心の高いテーマを選択的に受講できるような研修形態を検討する

#### 2) カリキュラムの内容・構成等について

#### ○理論と実践（事例紹介）のバランスについて（事後アンケート2-⑤）

##### 傾向

研修内容として、「理論」と「実践（事例紹介）」の配分については、現状のカリキュラムの配分でよいとする回答者が、全コースとも、おおむね多かった。ただし、「実践」の配分をより多く希望する者が多く、とくにその傾向は、幹部コースに顕著に見られた。

##### 対応（案）

- ・ 幹部コースについては、一般論よりも、具体的な対応について受講生が考察を深められる研修内容・形式を増やす。

#### ○座学と演習のバランスについて（事後アンケート3-①）

##### 傾向

研修形式として、「座学」と「演習」の配分については、第3四半期のアンケート結果において「演習」形式の配分増を要望する回答が多かったことを踏まえ、全コースにおいて「演習」の比率を求める対応を行った。その結果、第

4 四半期のアンケート結果では、全コースとも「バランスがよい」を選択する回答者が増え、改善は達成された。4 四半期においてもなお、「バランスがよい」よりも「演習」形式の配分増を要望する回答者が多い傾向が残ったのは、一般コースのみとなっている。

また、演習に必要となる予備知識について、事前資料の配布を要望する自由回答もみられた。

#### 対応（案）

- ・ 一般コースについては、受講期間中の参加者の学習意欲を高めるために、「演習」形式の、さらなる増分を検討する。
- ・ ただし、初心者の多い一般コース受講生には、基礎知識の伝達も必要であることから、これ以上「講義」コマを「演習」コマに単純に入れ替えることは難しい。そこで、事前のEラーニングを活用したり、演習で効果的な学習が達成されるために必要となる予備知識等を記した資料を配布したり、「座学」中心のコマのなかで、一部「演習」形式を併用するなどの工夫を行い、「講義」形式による必要な知識伝達と、満足度の高い「演習」形式の両立を図る。

#### ○カリキュラムとの対応について

##### 傾向

設定されたカリキュラム内容に対して、講義内容のバランスが偏る（特定のトピックに講義時間の多くが配分されすぎている など）の指摘が自由回答で見られた。

##### 対応（案）

- ・ 来年度に同講師に依頼する場合には、今年度の講義内容等を踏まえて、時間配分の調整を依頼する。
- ・ 講師の交代などで、事前に案内したカリキュラムから微修正が生じた場合（設定した学習目標に対応する講義が変更 など）には、初日のオリエンテーションなどで、受講生に説明する。

## ○全体討論会について

### 傾向

最終日に行う全体討論会については、評価は低い傾向である。全体討論会では、各コース全体の学習内容の認識を深めることを受講生自身が行えるよう、準備作業として、受講生に講義内容のまとめや討論を希望するテーマの事前準備を課している。しかし自由回答をみると、討論会で、準備していた内容やテーマについて、深い討論を実施できていないとの指摘が多い。また、討論会の形式を、全体での意見交換ではなくテーブルごととすること、スクール型レイアウトでなく口の字型レイアウトとすることなどの、提案もあった。

### 対応（案）

- ・ 討論を行う受講生を、テーマごとにまとめて行う分科会形式とし、分科会で話し合った結果を、最後に、全体で共有するプログラムとする。
- ・ テーマ設定は、現状の受講生アンケートによる設定とするか、あるいは、事務局側で各コースの目的に準じて設定する。

## ○幹部コースの傾向

### 傾向

幹部コースでは、理論的な講義への評価が高い傾向がある。（リーダーシップ論、意思決定など。受講生に、防災行政の経験が長く、基礎的な知識は有する者が多いことが背景にあると想定される。その一方で、自由回答では、「広報」の講義へ記者会見対応を追加することなど、実践的な内容強化への要望もあった。

### 対応（案）

- ・ 現状のように、理論的な内容を重視しつつ、基礎的な知識・内容は踏まえていることを前提に、記者会見対応など高度な実践的な内容の強化を図る。
- ・ 2日間と短期のコースであることから、施設見学などの短縮化により、研修時間の確保を図る。

## ○一般コース・総合コースの傾向

### 傾向

一般コース・総合コースでは、わかりやすい講義、業務への活用しやすい講義を評価する自由回答が多い傾向がある。また、講義内容と業務の関連性をより認識した上で受講できるように、初日のオリエンテーションでの説明を要望する意見も多い。

#### 対応（案）

- ・ 防災行政の経験の少ない受講生の多い、一般コース・総合コースでは、オリエンテーションなどで、講義内容と業務の関連性の補足説明を行う。

### 3) そのほか

#### ○受講生の人的ネットワーク構築について

##### 傾向

幹部、中堅、総合コースで、人的ネットワーク構築をできたとする、評価の高い傾向がある。実際、幹部・中堅コースは人数が少ないこともあり研修期間中に、受講生が自主的に名刺交換などを頻繁に行っている様子が見られた。さらに、受講生が研修後に自主的に食事会などを行っていた事例もあった。また、総合コースは、研修期間が長いこと、OJTの受講生はもともと顔見知りという事が背景にあると考えられる。これに対して、一般コースでは、人的ネットワーク構築への評価が、比較的低い傾向がある。背景として、演習形式が少ないこと、OJTの受講生と、それ以外の受講生でグループが分かれている傾向があると想定される。

#### 対応（案）

- ・ 幹部コースでは、受講生自身による主体的な交流活動が多いことから、休憩時間など自由時間の確保で、自主的な交流を促進する。
- ・ 一般コースでは、研修コースの早期に演習を実施し、受講生同士の交流促進を図る。また、研修時間外の交流を促すため、名刺交換のための時間や、交流コーナーなどを、明示的に事務局側が設けるなどの工夫を行う。
- ・ 交流コーナーには、各自治体の防災に関する資料（パンフレットや、災害対策本部レイアウトなど）を持参・設置するよう、事前に案内する。これら資料に設置によって、受講生間の情報共有や交流のきっかけや、より深い意見交換が可能になるものと期待される。

- ・ 受講生が研修後に、自主的な懇親会を、研修会場近くで開催しやすくなるよう、参考となる資料（近傍レストランの案内など）を事務局で用意する。
- ・ 全体討論会の準備やアンケート、また、質疑応答などが過度に行われないよう留意し、休憩時間を確保して受講生の交流を促す。

## 2. 2 第4四半期で対応した事項について

- ・ 全コースに渡って、要望が多かった「演習」形式の授業コマ数を増やした。
- ・ 交流会を初日に開催し、受講生同士の人的ネットワーク構築の促進を図った。
- ・ ワークショップ形式の授業をコースの前半に配置することにより、受講生同士の人的ネットワーク構築の促進を図った。
- ・ 受講生の負荷を減らし講義に集中できるよう、複数のアンケート集約や、各講義後に実施していた小テストを最終日にまとめて実施するようにした。
- ・ 講義内容の整理を効率的に行えるよう、テンプレートを初日に配布した。
- ・ 復習を早期に効果的に行えるよう、講義資料をデータで配布することとし、事前に受講生にUSBメモリを持参するよう連絡した。

## 3. 第3・4四半期研修（2013年度）アンケートの結果

第3四半期、第4四半期のアンケート結果を合計し、今年度の結果としてまとめたものを以下に掲載する。（※ 第3四半期個別の結果は、第2回企画検討会 資料2 防災スペシャリスト養成研修アンケート（速報）に掲載）

### 3. 1 事前アンケート

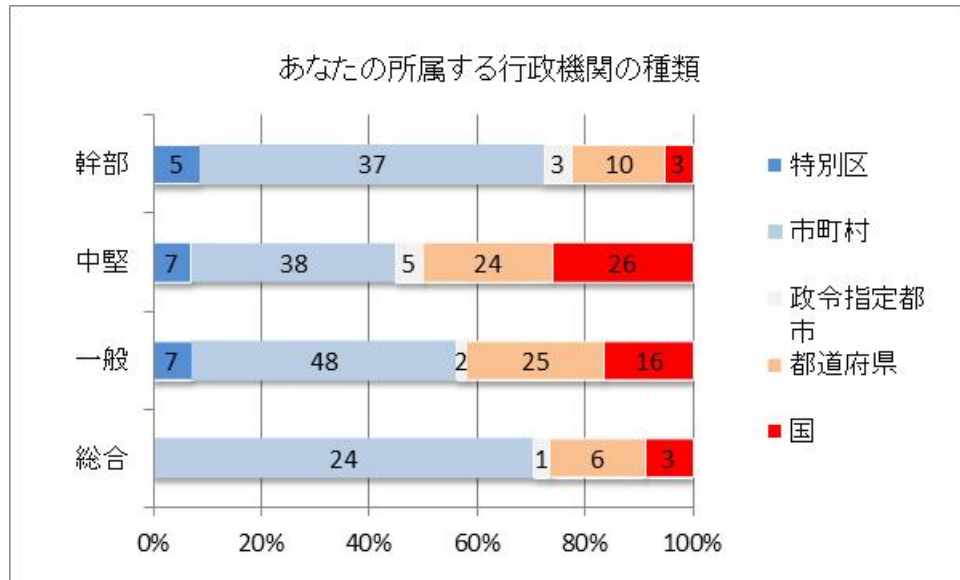
#### 1) 概要

受講生の属性（所属団体、地域、職位、経験など）や、知識・スキルの自己評価などに関して、研修コース開始時に調査した事前アンケート結果（抜粋）を、以下に掲載する。

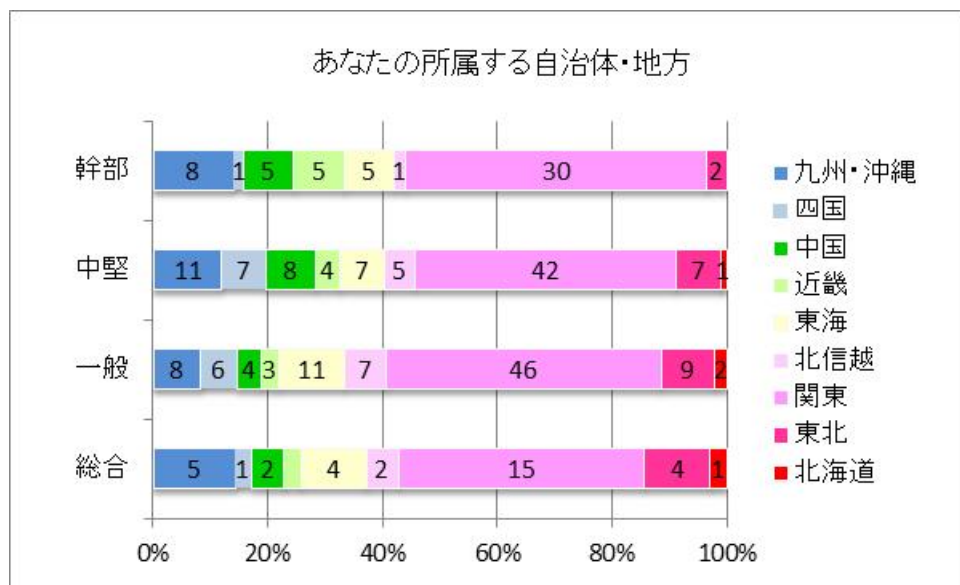


## 2) アンケート結果 (抜粋)

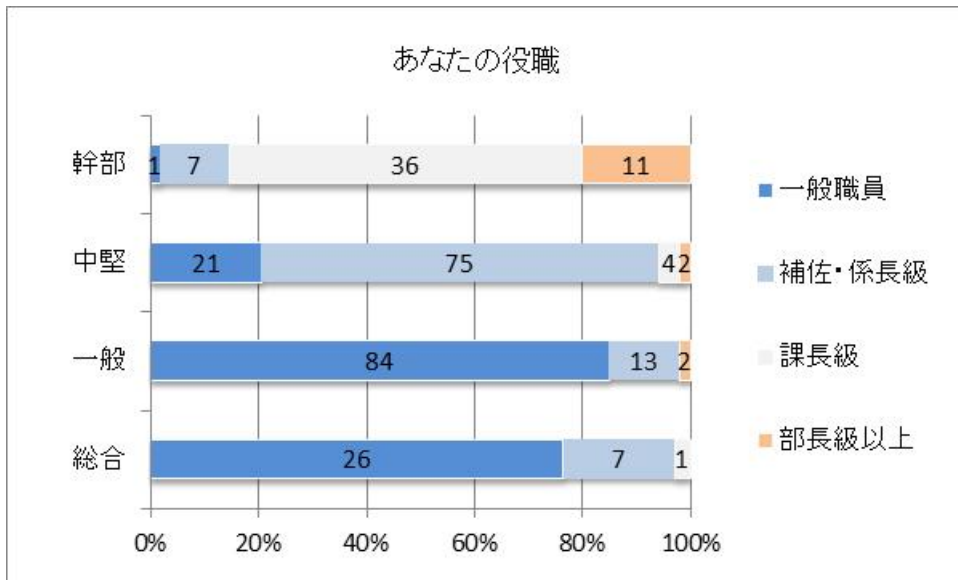
①あなたの所属する行政機関の種類は何ですか。(〇はひとつ)



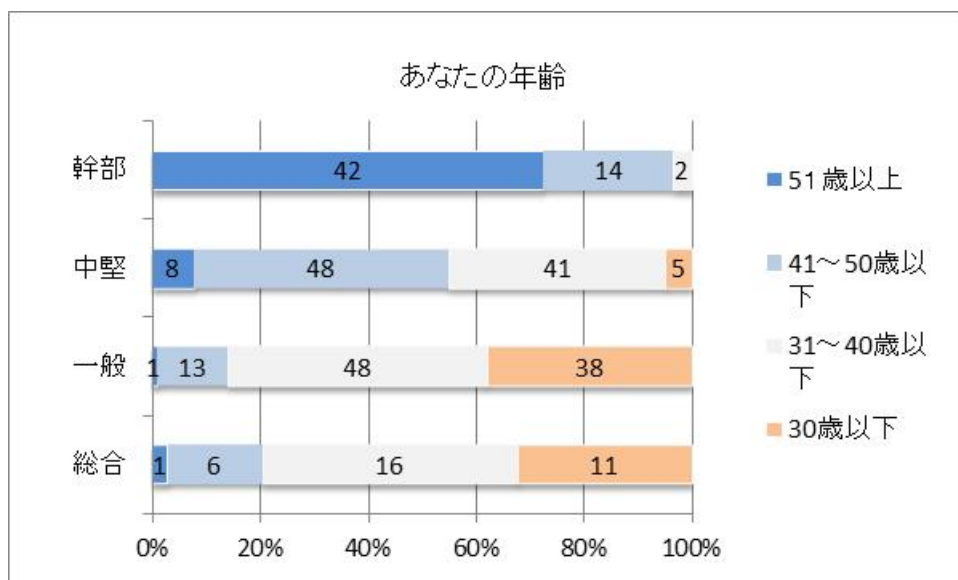
②あなたの自治体の地方はどこですか。(〇はひとつ)



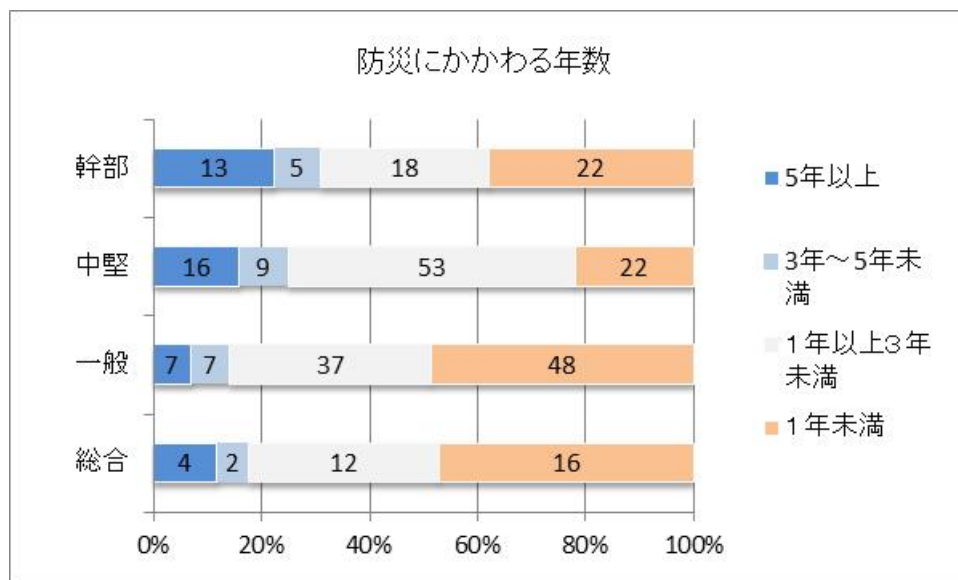
⑥あなたの役職を教えてください（○はひとつ）



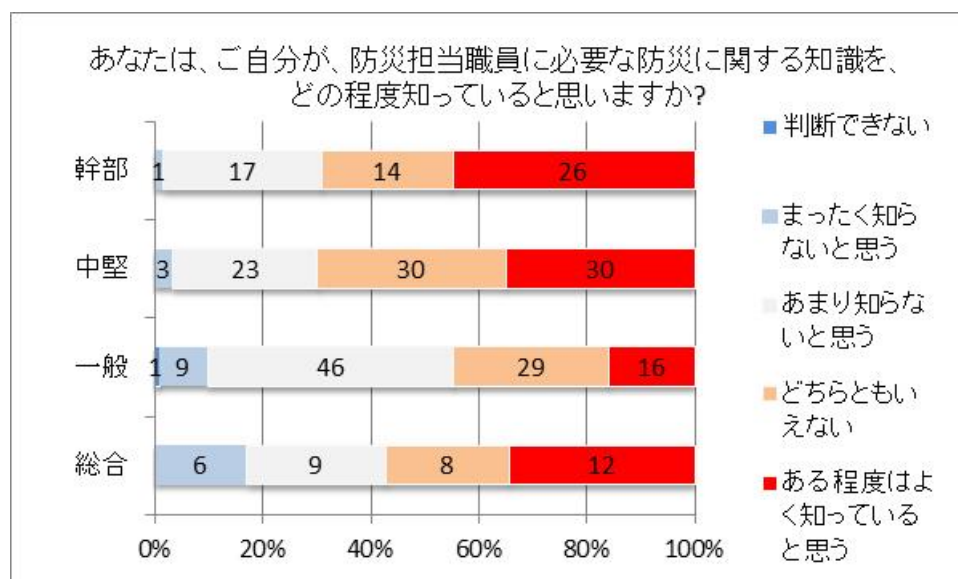
⑧あなたの年齢を教えてください（○はひとつ）



⑨あなたが、これまで防災行政にかかわった年数の累計を教えてください。（〇はひとつ）



⑩あなたは、ご自分が、防災担当職員に必要な防災に関する知識を、どの程度知っていると思いますか。（〇はひとつ）



### 3. 2 事後アンケート

#### 1) 概要

研修内容や運営方法等への評価に関して、各研修コース終了時に調査した「事後アンケート」結果（抜粋）を、以下に掲載する。

#### 2) アンケート結果（抜粋）

##### 1-③

今後、本コースの講義として、新たに追加したらよいと思うテーマや、今回の講義の内容を変えたらよいと思うテーマがありましたら、お書きください。

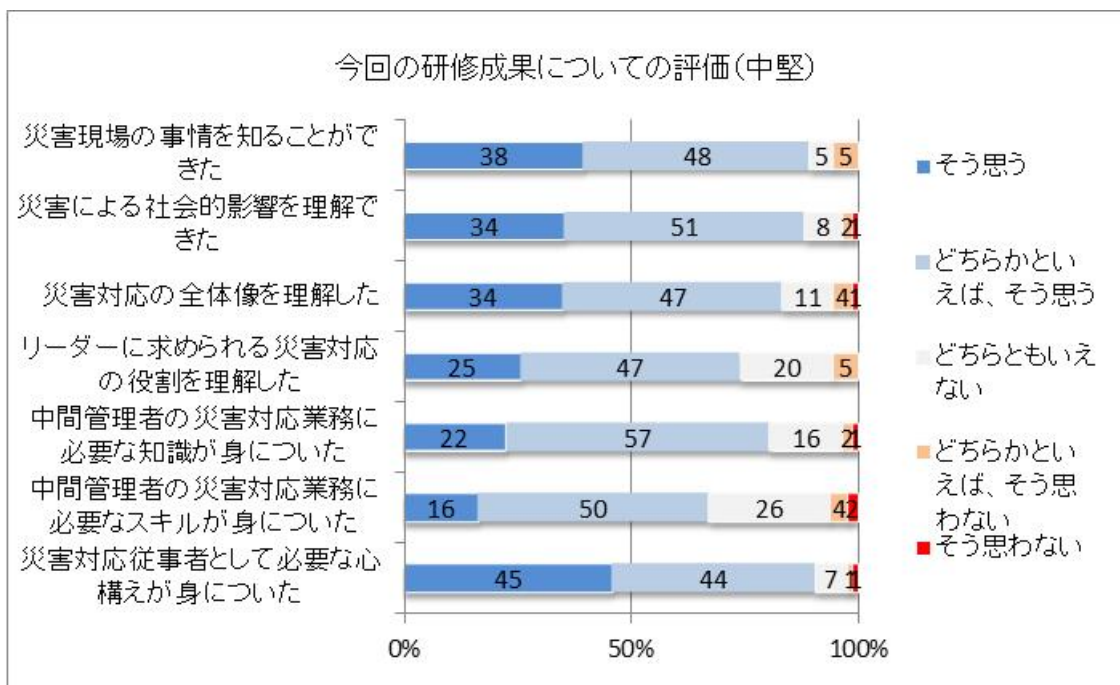
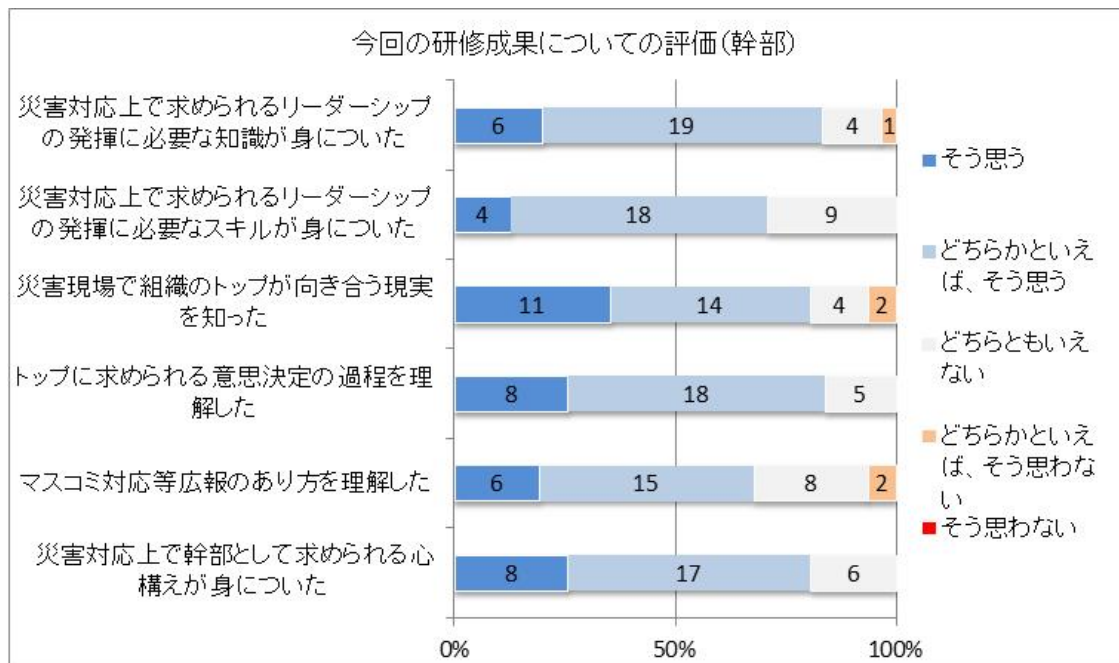
（3つまで）

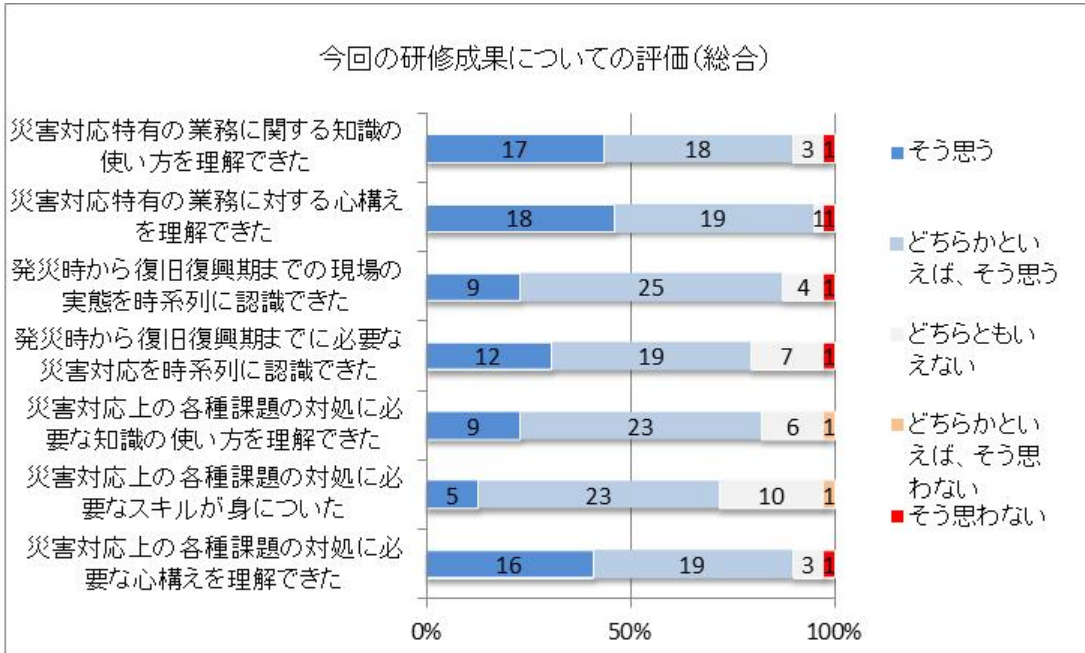
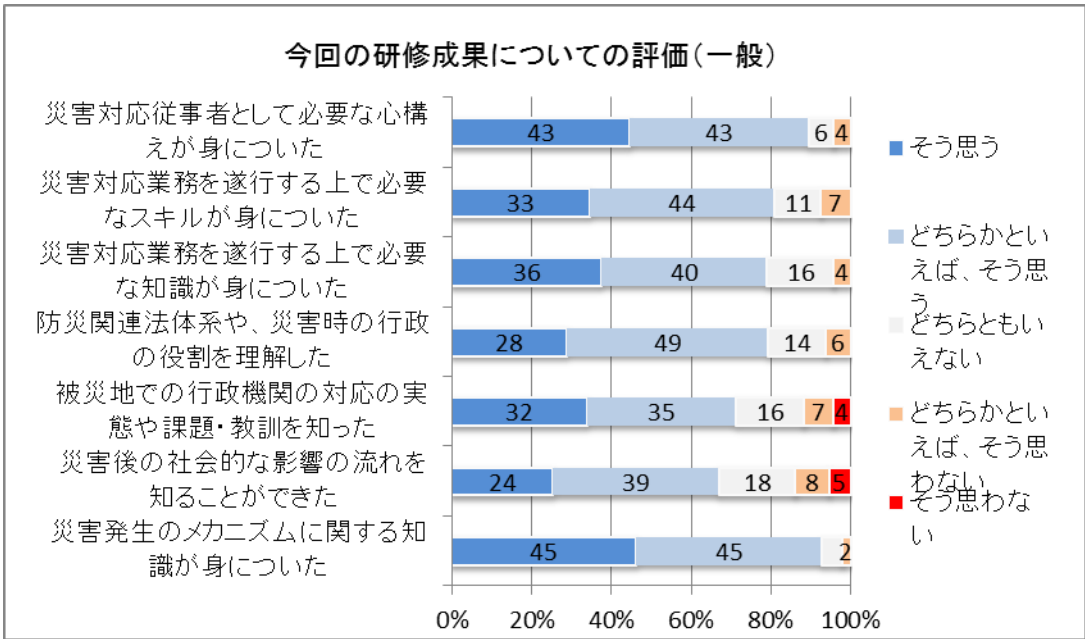
新たに追加したらよいと思うテーマ

幹部	中堅	一般	総合
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 災害対策本部の運用</li> <li>● 被災自治体職員の体験談</li> <li>● 原子力災害</li> <li>● 災害発生時のマスコミ対応</li> <li>● 被害想定の手法</li> <li>● ボランティアセンター</li> <li>● 状況判断演習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 災害対策本部の実態、運営</li> <li>● 意思決定</li> <li>● 災害対策基本法</li> <li>● 関係機関との準備</li> <li>● 災害対応経験談</li> <li>● 協議会の運営</li> <li>● 自然災害以外の大規模災害における対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● DIG や HUG の講習</li> <li>● 机上訓練など</li> <li>● 震災後のまちづくり</li> <li>● 情報収集と報告</li> <li>● 実務訓練</li> <li>● 水防訓練</li> <li>● 普及指導</li> <li>● 火山防災</li> <li>● マスコミ対応</li> <li>● 災害広報</li> <li>● 避難所運営</li> <li>● 事前復興</li> <li>● 自治体 BCP</li> <li>● ボランティア団体連携</li> <li>● BCP・サプライチェーン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地震の発生確率</li> <li>● 地域住民への啓発</li> <li>● 世界の防災対策</li> <li>● 防災計画</li> <li>● 国民保護</li> <li>● メディア対応</li> </ul>

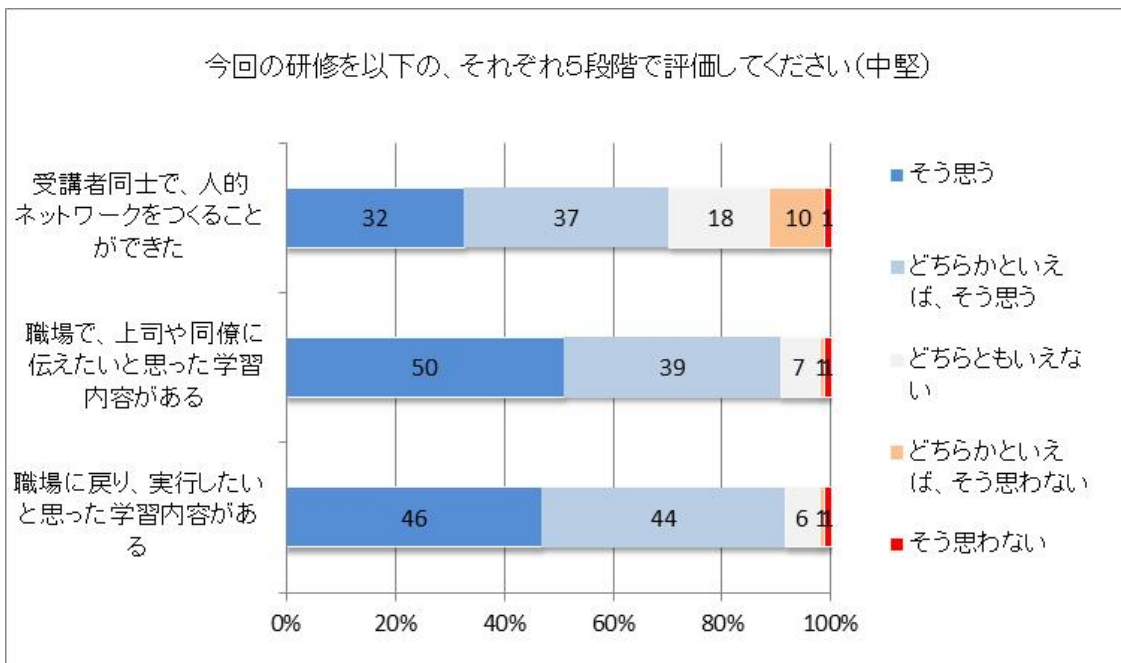
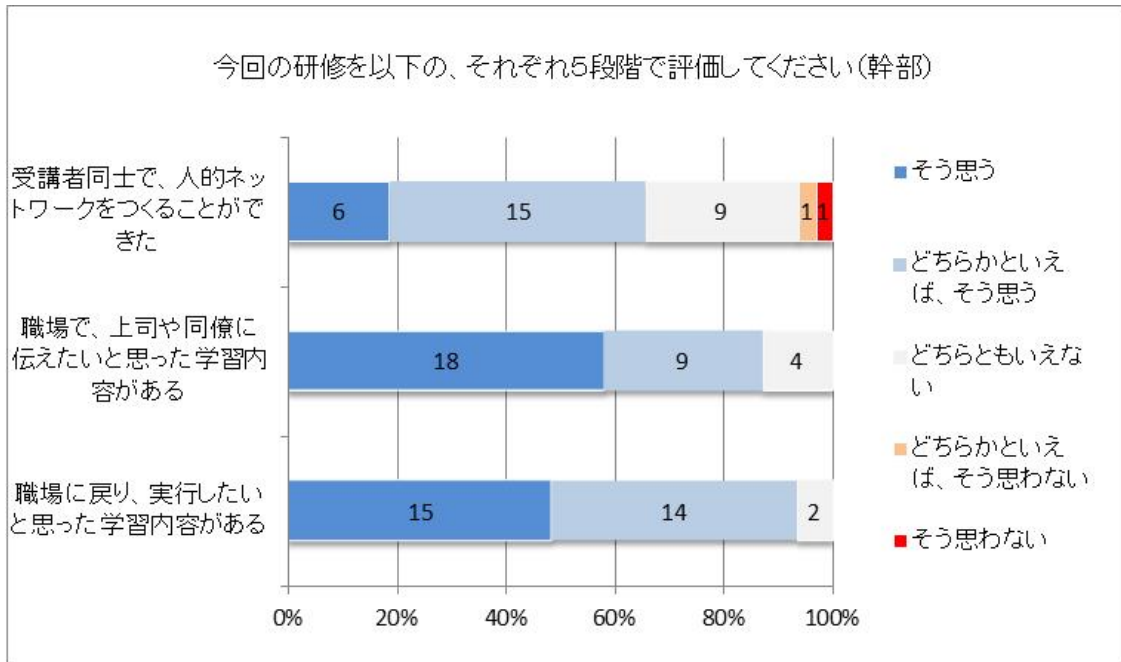
2-②

今回の研修の成果を以下の項目から、それぞれ5段階で評価してください(○はひとつ)

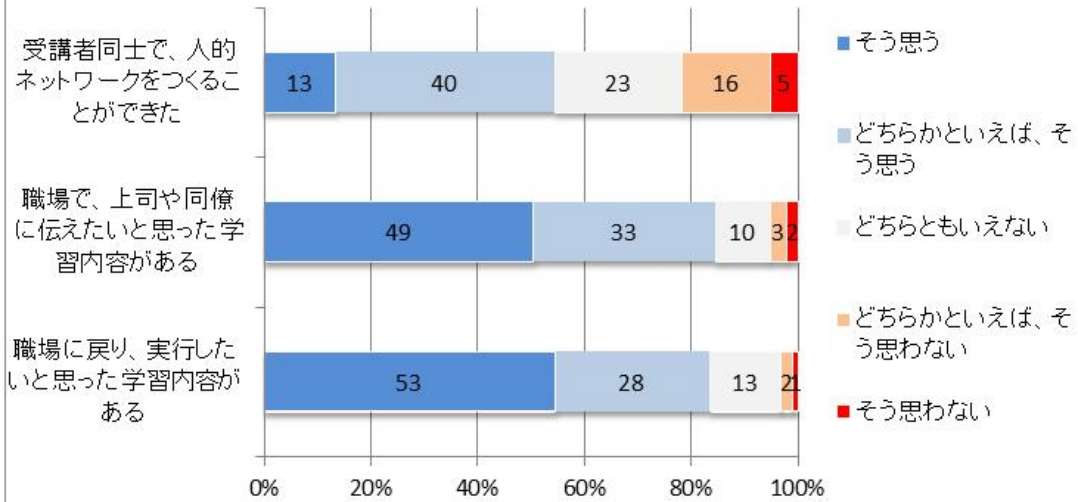




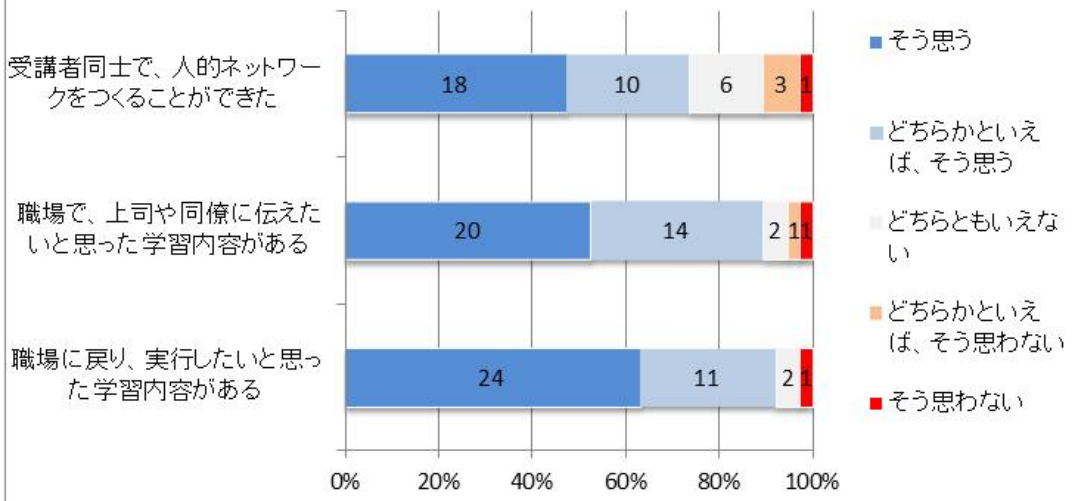
2-④ 今回の研修を以下の、それぞれ5段階で評価してください。(〇はひとつ)。



今回の研修を以下の、それぞれ5段階で評価してください(一般)

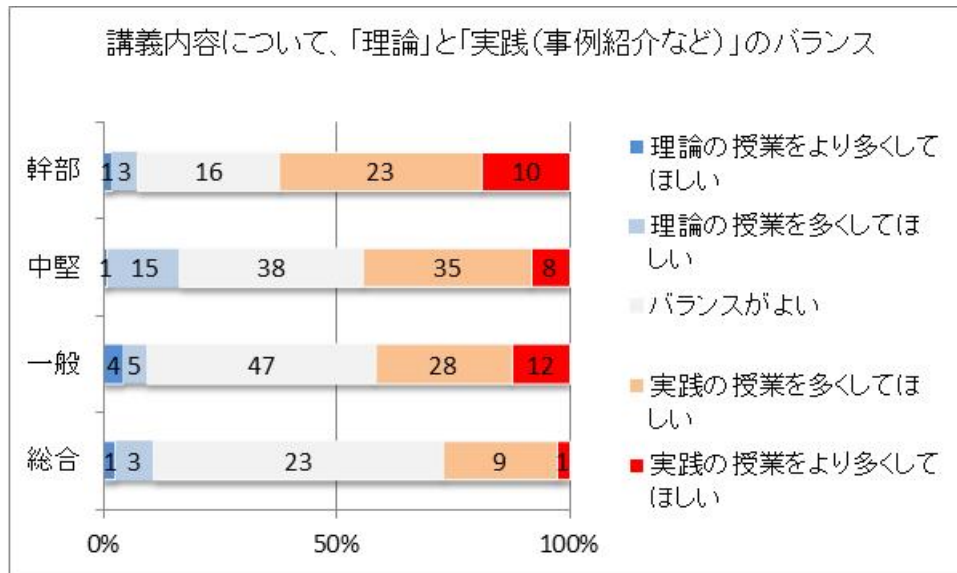


今回の研修を以下の、それぞれ5段階で評価してください(総合)

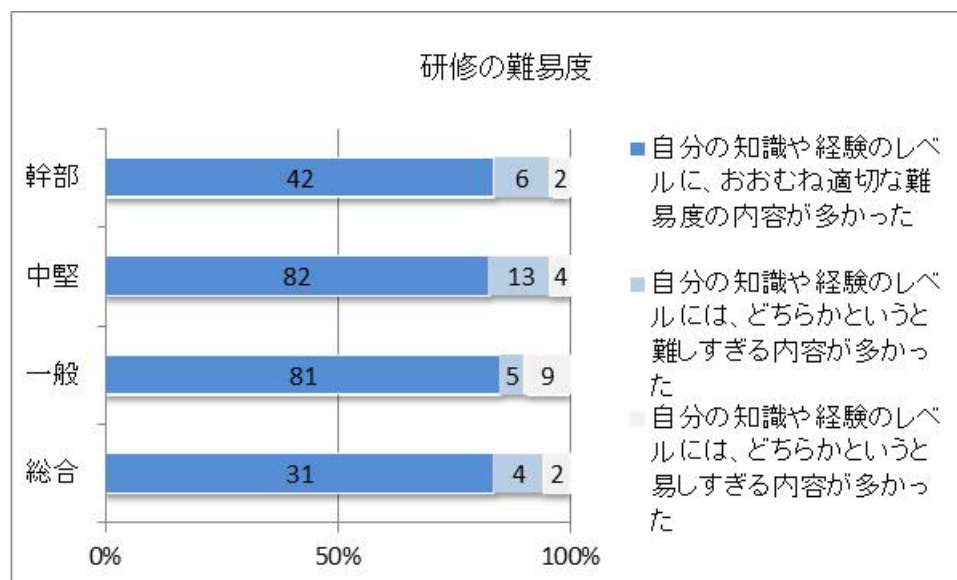




2-⑤ 講義内容について、「理論」と「実践（事例紹介など）」のバランスはいかがでしたか。下の座標軸のあてはまる箇所に○をつけてください。

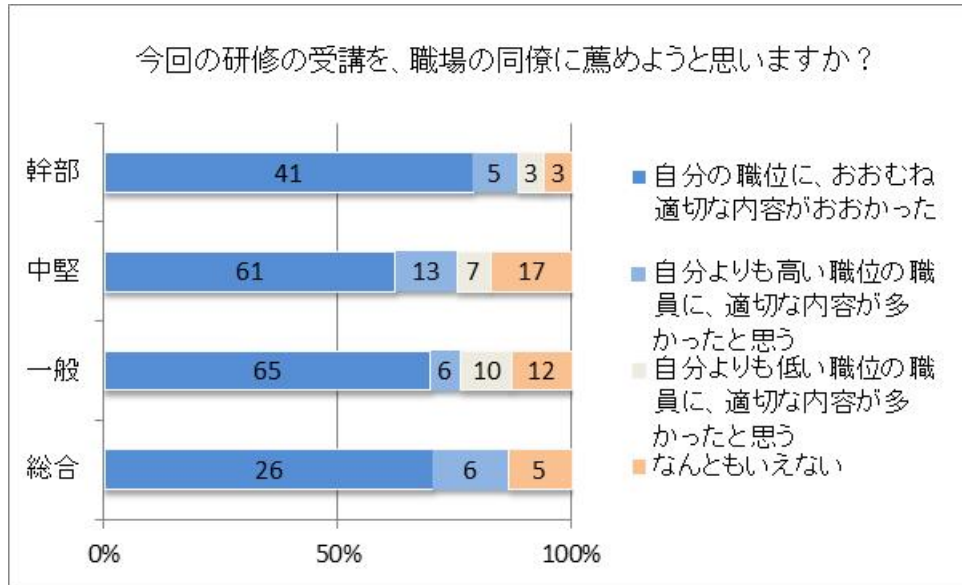


2-⑥ 今回の研修の難易度について、一番近いものを選んでください。(○はひとつ)。



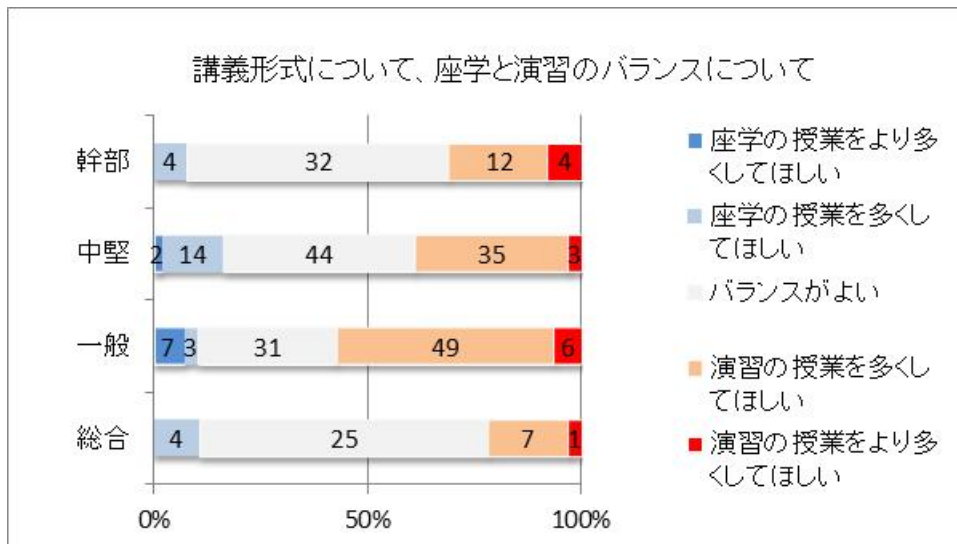
2-⑦

あなたは、今回の研修の受講を、職場の同僚に薦めようと思いますか。一番近いものを選んでください。(〇はひとつ)。



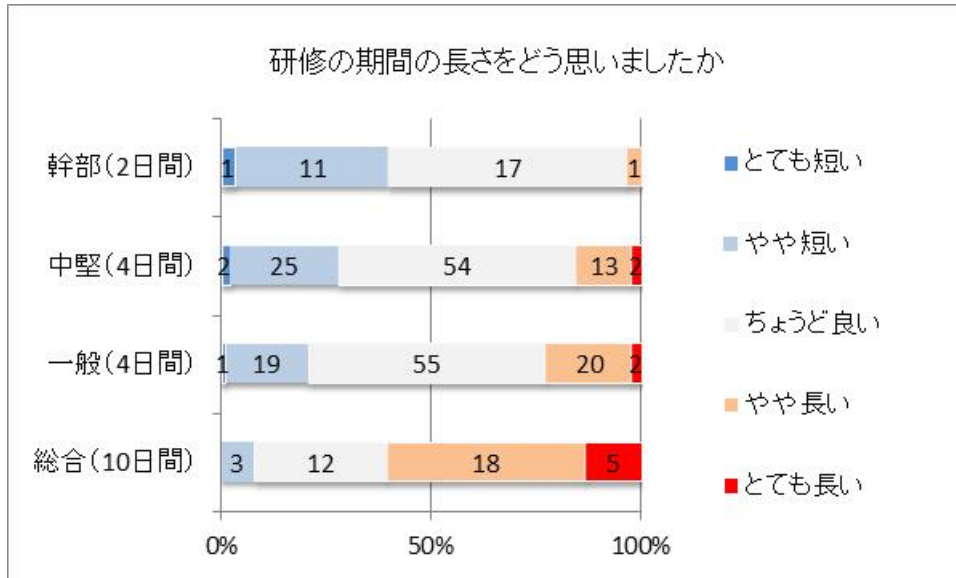
3-①

講義形式について、座学と演習のバランスはいかがでしたか。下の座標軸のあてはまる箇所に〇をつけてください。



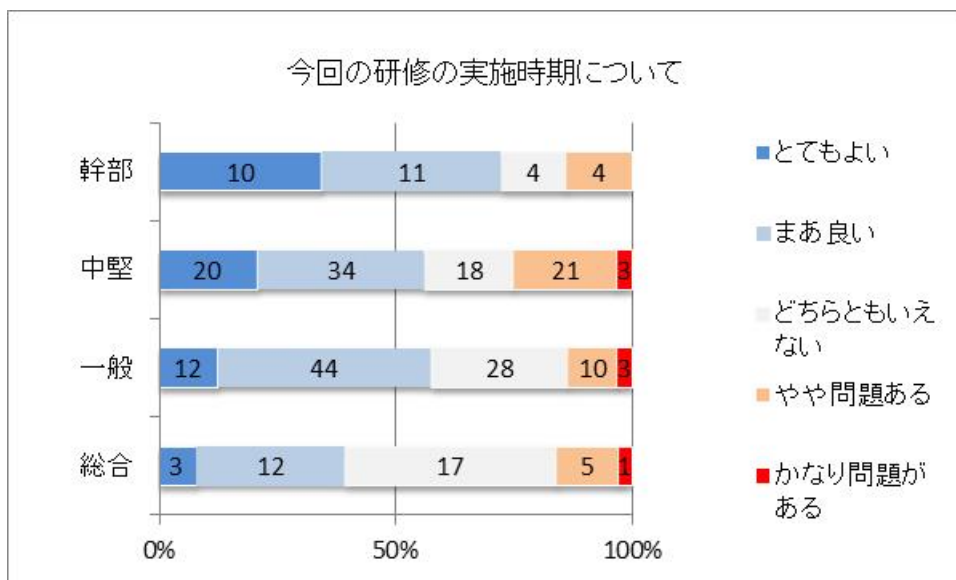
3-②

研修の期間の長さをどう思いましたか。(〇はひとつ)



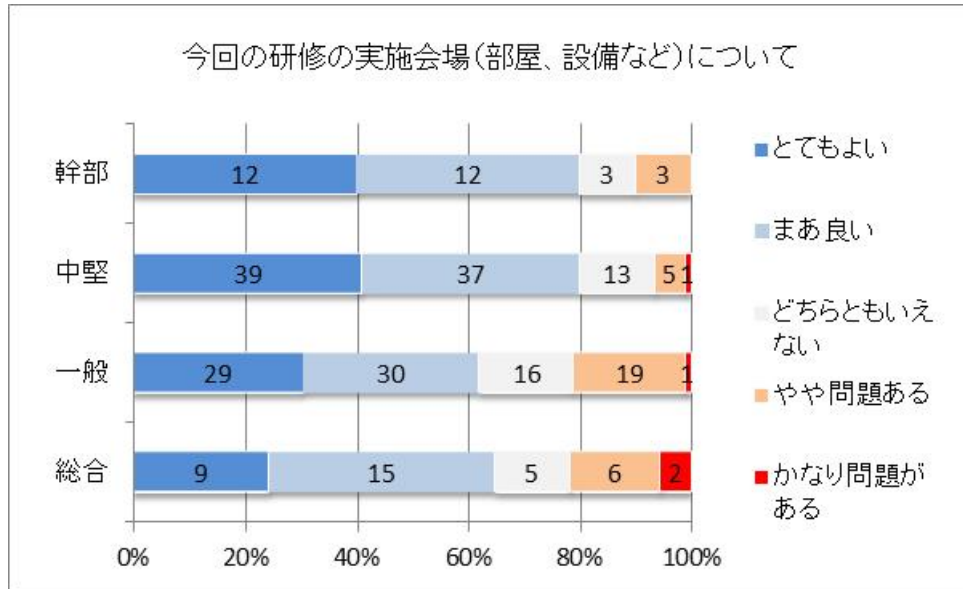
3-③

今回の研修の実施時期についてどう思いましたか。(〇はひとつ)



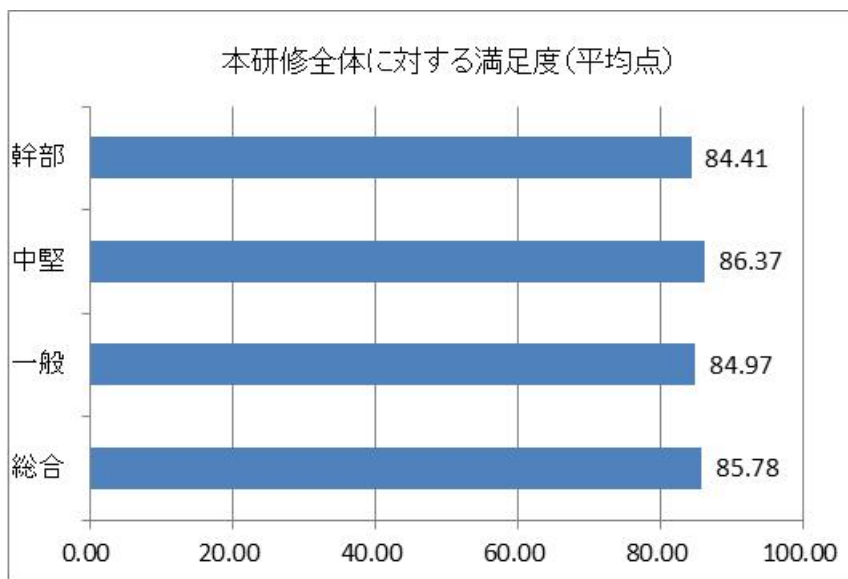
3-⑤

② 今回の研修の実施会場（部屋、設備など）についてどう思いましたか。（〇はひとつ）



3-⑦

最後に、本研修全体に対する満足度を100点満点で評価してください。X/100



## 「防災スペシャリスト養成研修」 アンケート結果をうけて改善した項目、今後の改善予定の項目

### ○平成25年度に改善した項目

分類	改善した項目
研修コース	カリキュラムの見直しを行った
講義	学習目標の紙を配布し、講義の目標を受講生に提示した
	ワークショップを初日、コースの前半に調整した
	演習の充実の為、演習時間を全体で25コマから33コマに増やした
資料	資料を綴じるファイルを初日に配布した
	資料を電子データで配布した
	事前に受講生にはUSBを持参するように連絡した
テスト	各講義ごとの小テストをやめ、コース最終日にまとめて実施した
	テストフォーマットを統一した
アンケート	会場で実施するアンケートを一部電子化し、受講予定者に事前に配布した
	単元別アンケートの実施フォーマットを改良した
ネットワーク交流	懇親会の実施をコース初日に変更した
	懇親会で名札の着用を呼びかけた
	懇親会に講師の参加を呼びかけた
その他	プロジェクター・マイクを増やし、講義環境を改善した

### ○平成26年度以降に改善予定の項目

分類	改善予定の項目
オリエンテーション	施設見学を廃止し、オリエンテーション内容(時間短縮、講義カリキュラムの説明充実、アンケートの説明)の改善を検討する
研修コース	コースおよびカリキュラムの見直す
	地方への出前講座を検討する
	地域ブロックごとの研修を検討する
講義内容	標準テキストを作成し、講義テーマと授業内容の一致させる
	講義をEラーニングでも実施するように検討する
	防災分野ごとのコース編成を検討する
講義資料 時間	時間がある場合は資料を両面印刷するよう改善する
	講義後の質疑時間を確保する
ネットワーク交流	メーリングリストの活用を充実させる
	演習でのグループメンバーの入れ替えを行い、より多くの受講者との交流を促す
施設設備	管理室に連絡を取り、講義室の温度設定に配慮する
その他	受講生に準備をお願いするものについては、研修決定後にすぐに連絡する